

緑の風



令和6年5月10日（金）
流山市立おおぐろの森中学校
第3学年 学年通信

真善美～歴史を学ぶことで、知性と道徳心を身に付け感性を豊かにする～

いよいよ修学旅行の準備も総仕上げの時期となりました。修学旅行実行委員が掲げたスローガン「真善美」。広島での平和学習や、京都での班別学習を通して、真（物事の真実をとらえ）、善（倫理的、道徳的に正しい心もち）、美（思考・感情・行動において人として調和のとれた状態）を目指そうという、まさに「人間力の向上」をテーマにしています。この1ヶ月間、修学旅行に向けて自律・学習・美化・合唱・広報・給食の6つの部会に分かれ、活動をしてきました。

自律部会では、昨年度の Grow School の経験をもとに、持ち物や宿舎での過ごし方について意見を出し合ったり、公共の交通機関・歴史的建造物や町並みでのマナーについて話し合ったりしています。

学習部会や広報部会では、広島の平和記念資料館や平和記念公園について調べたり、京都のお寺・神社・町並み・伝統品・お土産・食事についてPOPにまとめたりして、3年生の教室フロアを彩っています。

美化部会や給食部会は、生徒の部屋やお風呂の過ごし方、布団の整理の仕方などを話し合ったり、食事について考えたりしています。

合唱部会では、広島・京都に関わる歌（「折り鶴」「原爆を許すまじ」「ひろしま平和の歌」「京都府の歌」等）について調べ、その歌詞に込められた想いや経緯をわかりやすくまとめています。



しおりの表紙絵は、
3-5 小川さん
の作品になりました！

事前学習では、京都の文化・歴史・歳時記といったことを調べ、班ごとに「京都ってこんな町」というイメージをまとめました。「日本の美しい文化であふれている」「昔ながらの伝統や芸術、建物、料理などの文化が現代にまで伝わっていて、人々の暮らしに根付いている」といった多彩な表現が見られました。それをもとにして、2日目の班別行動計画を自分たちで練りあげました。当日は、伝統と文化が詰まった“古都”京都の魅力を存分に味わえるのではないのでしょうか。

5月に入ってから、広島についての学習を深めています。「原爆ドーム」「平和記念公園」「広島電鉄」といった私たちが訪れる場所をはじめ、広島の歴史と現在について班ごとにまとめています。戦争によって、また原爆によって、広島の街・暮らしはなくなってしまったのか、そしてどのように復興していったのか。実際の舞台を見て、ガイドさんの話を聞いて、人々の痛みを、復興の力を実感して、これからどのような社会を築いていきたいか、考えるきっかけとなることを願っています。

◎修学旅行の3日間の大まかな予定

1日目 (5/29)	おたかの森駅集合 (6:30~6:57) 班ごとに移動 TX秋葉原乗り換え → 東京駅 到着、新幹線出発 (8:51) → 広島駅 到着 (12:48) → 広島電鉄 (貸切) にて、“原爆ドーム” へ 碑めぐりガイドさんとともに、“平和記念公園” を巡る 班ごとに“平和記念資料館” を見学する → “広島の宿 相生” にて宿泊
2日目 (5/30)	朝：大きな荷物を次のホテルへ発送 “宿 相生” 出発 (8:40) → 広島駅 新幹線出発 (9:57) → 京都駅着 (11:38)、班別行動開始 (12:00~18:00) → 宿“ホテル GINKAKU” にて宿泊
3日目 (5/31)	大きな荷物を家に発送 → 着物に着替えてバスに乗車 → クラス別散策 1・2・5・6組：平等院~伏見稲荷大社 3組：銀閣寺~清水寺 4組：嵐山 → 京都駅出発 (14:33) → 東京駅到着 (17:12)、おたかの森駅着 (18:30 ごろ)

◎ “学びの冒険” のはじまり

正式日課が始まって、およそ1ヶ月。授業では、昨年度にも増して真剣に・情熱的に取り組んでいる様子が見られます。“学ぶこと” は冒険のようなものです。私たちの根底には、好奇心があふれていて、知らないこと・新しいことに出会う度、心が踊らされます。もしかしたら、時には困難や障壁に当たることもあるかもしれませんが、しかし、仲間とともにそこを乗り越えたところに、知識という財産に辿り着けるのです。そんな“冒険” のようにワクワク・ドキドキするような授業を一緒に創っていきたいと考えています。



今年は進路開拓の年でもあります。「将来について、今はまだ明確な言葉で表せないけれど、今まで以上に頑張りたい!」という気持ちが学校生活の様々な場面でひしひしと伝わってきます。この1年間をかけて、自分の「夢」や「人生の歩み方」について考え、挑戦していく第一歩にしてほしいと思います。